

令和7年度産 たんかん栽培暦〔結果樹〕

令和7年1月作成

月	旬	生育相	主要管理	防除方法		栽培管理上の注意
				対象病虫害	防除薬剤・希釈倍数	
1	上中下		土壌改良資材施用			○土壌分析を行い、土壌改良資材を適宜施用する。
2	上中下	果実成熟期	収穫	【収穫直後】 ミカンハダニ かいよう病	スプレーオイル（マシン油97%） 200倍 加用コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍	○収穫後は、通気性のよい倉庫で予措を必ず行う。
3	上中下	発芽期	施肥（春肥） 整枝・せん定	【萌芽期】 そうか病 【開花直前】 かいよう病	デランフロアブル 1,000倍 コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍	○弱樹勢園は、落葉を助長するため、スプレーオイルの散布を控え、農薬散布時の混用などで、尿素500倍希釈液を新梢硬化までに3回以上葉面散布する。
4	上中下	開花期	枯枝除去 （4月～9月）	【開花期】 訪花害虫・ミカン キジラミ	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	○デランフロアブルとコサイド3000の散布間隔は、3日以上空ける。
5	上中下	落弁期		【落弁期】 そうか病・黒点病・ 灰色かび病 【梅雨前】 かいよう病・黒点病 そうか病・黒点病 赤衣病	フルーツセイバー 2,000倍 コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍 マネージドライフロアブル 4,000倍 ジマンダイセン水和剤 600倍 トランスフォームフロアブル 2,000倍	○新梢の発生・伸長期には、ミカンハモグリガやアブラムシ類が発生し、新葉を加害する。加害痕からのかいよう病発生を防ぐため、下欄の薬剤一覧から選択してローテーションで散布する。
6	上中下	生理落果期		カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ ミカンハダニ 黒点病・赤衣病・ 黄斑病	スプレーオイル（マシン油97%） 200倍 ジマンダイセン水和剤 600倍 モスピラン顆粒水溶剤 （主幹・株元散布） 400倍 ジマンダイセン水和剤 600倍	○赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆか促進にバッチレート塗布する。
7	上中下	粗摘果		ゴマダラカミキリ 黒点病・赤衣病・ 黄斑病 【台風前】 かいよう病	コナカイガラムシ類 2,000倍	○赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。
8	上中下	果実肥大期	台風対策		コナカイガラムシ類 2,000倍	○スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、葉害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。
9	上中下	摘果		黒点病・赤衣病 サビダニ類・ミカンハダニ	ジマンダイセン水和剤 600倍 メビウスフロアブル 2,000倍	○ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。
10	上中下		施肥（秋肥）	黒点病	ストロビードライフロアブル 2,000倍 ダニゲッターフロアブル 2,000倍	○昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。
11	上中下		仕上げ摘果			○台風通過後は、6時間（遅くとも10時間）以内に散水（1.5t/10a）し、潮風害対策を行う。
12	上中下		夏秋梢整理 樹上選果 防風垣整備 鳥獣害対策			○赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆか促進にバッチレート塗布する。
			着色期			○ハダニ・サビダニ類は発生初期の防除に努め、同一薬剤の使用は年1回を原則とする。サビダニ類は下欄から使用回数制限に注意して選択する。
						○樹勢を保つには年間を通して肥効が続くのが望ましいが、収穫前の窒素過多状態は着色不良で収穫遅延を招くため適期に適正量の施用を行う。
						○夏秋梢は、その長さや角度、硬化程度によって、臨機応変にその取扱方法を変える。
						○高くなりすぎた防風垣は、受光体勢が悪化して光合成低下を招くため、刈り込みを行う。

健全な樹勢を維持して奄美地域のたんかんの連年安定生産を実現しよう！

基幹防除・・・発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除・・・発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和6年11月28日現在の登録内容を記載。農薬の使用に当たっては、農薬容器のラベルに記載された事項等を十分に確認し、安全かつ適正に使用してください。

<施肥基準：10a 当たり施肥量> カラタチ台の場合

時期・種類	収量	10a 当たり収量			
		1,000kg	1,500kg	2,000kg	2,500kg
2月下旬	LP入り奄美 たんかん春用 （10-7-7）	120 kg （6袋）	140 kg （7袋）	160 kg （8袋）	180 kg （9袋）
10月上旬	奄美果樹配合 （8-8-5） 蜜のめぐみ2号 （8-3-3）	40 kg （2袋）	60 kg （3袋）	80 kg （4袋）	100 kg （5袋）

★シークワーサー台木は、上記から1～2割程度減じる。

<農薬散布時の留意点>

- 風向きや風速に注意し、対象作物以外への飛散防止に努める。
（飛散の恐れがある近隣栽培者には連絡をとって実施する）
- 規定の範囲内で樹冠に対して十分量の薬液散布を心がける。
（特に、殺虫剤・殺ダニ剤は散布ムラがないように丁寧に）

<ミカンハモグリガの防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	材ニコチノイト（77'ラム〇）
ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日	3回	材ニコチノイト（77'ラム〇）
モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	材ニコチノイト（77'ラム〇）
カスケード乳剤	2,000倍	収穫7日前	2回	I G R
スピノエースフロアブル	4,000倍	収穫7日前	2回	ｽﾋﾞ'ｼｼ
エクシレルSE	5,000倍	収穫前日	3回	ｼﾞﾌﾞｽﾄ
フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日	2回	ｼﾞﾌﾞｽﾄ

<ミカンキジラミの防除薬剤> カンキツグリーニング病対策

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アトマイヤー顆粒水和剤	5,000倍	収穫14日前	3回	材ニコチノイト

★園地周辺のゲキツは伐採する。

★発生の際の疑われる樹があった場合は、関係機関に連絡する。

<サビダニ類の防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
コテツフロアブル	4,000倍	収穫前日	2回	ﾘｳｹﾂｷｳﾐｶﾝｻﾋﾞﾀﾞﾆｺ
ダニエモンフロアブル	4,000倍	収穫7日前	1回	ﾊﾀﾞﾆｺ同時防除可
カネマイトフロアブル	1,000倍	収穫7日前	1回	ﾊﾀﾞﾆｺ同時防除可

奄美群島農政推進協議会

連絡先

大島支庁農林水産部農政普及課：0997-57-7274

同 瀬戸内町駐在：0997-72-0184

同 喜界町駐在：0997-65-3019

大島支庁徳之島事務所農業普及課：0997-82-0323